

循環器疾患の包括的遺伝子解析 心疾患患者の心筋検体を利用した疾患関連因子の究明

循環器内科で対象としている心血管疾患は様々な原因で発症しますが、遺伝的要因が関与しているものも少なくありません。筑波大学附属病院循環器内科では不整脈疾患や心筋症などの心血管疾患と診断された方や可能性のある方に、研究に関する説明をさせていただいた上で同意をいただいた方を対象として、遺伝子解析をさせていただいております。これまで「循環器疾患の包括的遺伝子解析」という研究において、新たな研究に使用しても良いという点で同意をいただき、保存させていただいている検体・診療情報について、研究に必要な範囲で新たな研究に使用させていただきたいと考えております。

具体的には、心筋症あるいは心筋症の可能性のある患者さんで、通常診療で心筋生検あるいは心筋切除手術を行う方を対象とした「心疾患患者の心筋検体を利用した疾患関連因子の究明」という筑波大学附属病院循環器内科を中心とした多施設共同研究に同意していただいた患者さんが対象です。そのうち「循環器疾患の包括的遺伝子解析」という研究においても、新たな研究に使用しても良いという点で同意をいただいている患者さんを対象に、血液から抽出したゲノム解析結果と心筋検体のゲノム解析結果とを比較させていただきたいと考えております。氏名・生年月、あるいは個人を特定できる可能性のある個人情報には匿名化し、厳重に情報を管理いたしますので、個人情報が漏れることはありません。本研究は、筑波大学の運営交付金（公費）および武田薬品および帝人ファーマからの研究助成金を使用いたします。尚、本研究は研究助成金の出資先である企業の製品を評価する研究ではございません。本研究の実施にあたっては、当院の利益相反委員会および倫理委員会へ特定の企業との利害関係がないことを申告し、審議されております。

これまで「循環器疾患の包括的遺伝子解析」という研究に同意したものの、同意を撤回したいという方、新たな解析研究には検体・診療情報を使用してほしくないという方、あるいは質問等がある方は下記問い合わせ先までご連絡いただければと思います。

対象疾患

不整脈疾患：特発性心室細動・QT延長症候群・ブルガダ症候群・カテコラミン誘発性多形性心室頻拍・進行性伝導障害・QT短縮症候群・家族性心房細動

心筋症：肥大型心筋症・拡張型心筋症・拘束型心筋症・不整脈源性右室心筋症、二次性心筋症

研究代表者

筑波大学循環器内科 教授 青沼 和隆

問い合わせ先：

筑波大学医学医療系循環器内科 准教授 村越 伸行

〒305-8575 茨城県つくば市天王台 1-1-1

E-mail: n.murakoshi@md.tsukuba.ac.jp

TEL：029-853-3525（または029-853-3142）